

いなべ市 議会だより

第44号

平成27年2月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会

12月定例議会

議長・副議長・監査委員の就任
新しい議会構成

議長に岡 英昭氏 副議長に川瀬 利夫氏が就任

12月定例議会の開会日(11月28日)に議長・副議長の選挙を行い、新議長に岡英昭氏(64歳・いなべ未来)、新副議長に川瀬利夫氏(60歳・政和会)を選出しました。



議長
岡 英昭



副議長
川瀬 利夫

議長就任あいさつ

立春の候、市民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
このたび、12月定例議会において議長に就任いたしました。今、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。本市において、今年は新庁舎建設に向けて、動きも加速し、その周辺に設置予定のインターチェンジを始めとする東海環状自動車道の建設も全線開通に向け、大きく始動するものと思われ、飛躍が期待されます。議会としても議員各自が錬磨・研鑽に努め、さらなる議会改革を推進し、市民の皆さまのご付託に尚一層応えられるよう取り組んでいきます。いなべ市議会に対し、深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いなべ市議会議長 岡 英 昭

監査委員に もとのり 小川幹則氏

12月定例議会において、議会選出監査委員として小川幹則氏を選出しました。いなべ市の監査委員は議会選出の監査委員および識見を有する監査委員の2名。市財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理の監査などを行います。



新しい議会構成

平成26年12月9日現在

議 長	岡 英 昭	副議長	川 瀬 利 夫
-----	-------	-----	---------

議会選出監査委員	小 川 幹 則
----------	---------

区 分	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委員 長	多 湖 克 典	新 山 英 洋	鈴 木 順 子
副委員長	渡 邊 忠 比 古	川 瀬 幸 子	種 村 正 巳
委 員	岡 恒 和	伊 藤 智 子	小 川 幹 則
	伊 藤 正 俊	清 水 隆 弘	川 瀬 利 夫
	位 田 ま さ 子	水 谷 治 喜	清 水 実
	林 正 男	衣 笠 民 子	伊 藤 弘 美
	小 川 克 己		

新庁舎建設特別委員会			
委員 長	林 正 男	副委員長	新 山 英 洋
委 員	伊 藤 智 子	小 川 幹 則	岡 恒 和
	渡 邊 忠 比 古	清 水 隆 弘	多 湖 克 典
	川 瀬 幸 子	伊 藤 正 俊	川 瀬 利 夫
	清 水 実	水 谷 治 喜	衣 笠 民 子
	鈴 木 順 子	岡 英 昭	位 田 ま さ 子
	伊 藤 弘 美	種 村 正 巳	小 川 克 己

区 分	委員 長	副委員長	委 員	
議 会 運 営 委 員 会	水 谷 治 喜	鈴 木 順 子	清 水 隆 弘	多 湖 克 典
			位 田 ま さ 子	林 正 男
議 会 広 報 編 集 委 員 会	川 瀬 幸 子	新 山 英 洋	岡 恒 和	渡 邊 忠 比 古
			鈴 木 順 子	種 村 正 巳

桑名広域清掃事業組合議会議員	清 水 隆 弘			
桑名・員弁広域連合議会議員	新 山 英 洋	渡 邊 忠 比 古	多 湖 克 典	川 瀬 幸 子

議会運営委員会

後列左から、林正男委員、位田まさ子委員
多湖克典委員
前列左から、清水隆弘委員、水谷治喜委員長
鈴木順子副委員長

議会運営委員会では議会運営を効率的に行うため、意見調整や議事の取り扱いの協議などを行います。



常任委員会の議案審査

総務常任委員会での主な質疑

総務常任委員会



後列左から、小川 克己 委員、岡 恒和 委員
伊藤 正俊 委員、林 正男 委員
前列左から、位田 まさ子 委員、多湖 克典 委員長
渡邊 忠比古 副委員長

行政手続条例の一部改正

Q この条例は国の法律に従ってつくられ、これまでの行政指導の権限やそれに対する不服という部分で手続きを明確化したと評価できるが、いなべ市の条例の中でこれにかかわるものは。

A 環境基本条例については、市は環境の保全と改善を図るため、市民、市民団体または事業者に対し自主的な環境管理の推進に必要な指導および助言を行うことができる。また、環境美化条例については、いろいろ禁止事項が上げられており、不

法投棄の禁止、焼却の禁止、空き缶などの回収、空き地等の管理といった禁止事項について市長は、違反した者に対しては必要な措置を講じるよう指導または勧告することができる。

防災情報伝達システム（一般会計補正予算）

Q 現在使われている同報無線から防災ラジオに替えたとき、迅速に対応ができるようになっているのか。

A 通常いなべFM放送を聞くときには、防災ラジオの電源を入れる必要があるが、緊急の場合は、自動的に起動して防災情報が流れ、FM

ラジオの放送中でも緊急に割り込みが可能。

Q ラジオの配付が当初の予定より遅れているが、年度内には配付は終わるのか。

A ラジオは、現在、12,000台導入をしている。平成26年末に5,000台

導入し、計画の17,000台が製作される。ラジオは、自治会長協力のもと配付し、台帳管理をする。もし、いなべ市外へ転出されるときには返却してもらう。配付時期については、自治会長の交代時期もあるので、新しい自治会長が確定すれば随時説明をし、その後、配付を検討している。

社会保障、税番号制度対応システム（一般会計補正予算）

Q 個人情報の管理に不安があるが、ここで一括管理しようとするデータ情報の項目は。

A 基本的な個人情報の氏名、住所、生年月日、性別の4情報に個人番号(マイナンバー)をデータに加えることが今回の基本的な改修になる。

Q 個人情報を丸ごとつかまれてしまうことは不安であり、信頼性はどの程度持っているのか。

A 市の住民システムは、他のインターネット回線とは別にネットワークを組んでいるので、漏えいするということはない。また、このマ

イナンバーについても、連携するのはL G W A Nという国と自治体等を結んでいる専用回線を使用するためセキュリティ性も高い。

教育民生常任委員会での主な質疑

教育民生常任委員会



後列左から、伊藤 智子 委員、水谷 治喜 委員
衣笠 民子 委員
前列左から、清水 隆弘 委員、新山 英洋 委員長
川瀬 幸子 副委員長

いじめ問題対策連絡協議会条例

Q いじめ防止基本方針にある、いじめ問題対策校内委員会との関係性は。

A 校内委員会の役割としては、いじめの未然防止やいじめが発生したときの対策など、それぞれの学校の中で行っている。各学校の情報の共有については、生徒指導連絡協議会

があり、員弁郡、いなべ市の生徒指導の担当者、学校長が集まって行う。その学校長の代表及び教頭会の代表が連絡協議会に参加するため、そこで情報共有を行う予定。

いじめ問題対策審議会条例

Q この審議会では、いじめ防止のための調査研究を実施しないのか。

A この審議会は主に、いじめ事案が発生したときの対応が大きな役割になると思っている。いじめの未然防止や日常的な取り組みについて

は教育委員会でも日々検討しており、学校では校内委員会をつくり考えているので、そちらで対応していきたいと思っている。

障害者在宅施設サービス事業（一般会計補正予算）

Q 障害者自立支援福祉サービスの事業内容は。

A 障害者介護、訓練給付費のサービスは、居宅介護、短期入所（ショートステイ）、共同生活援助（グループホーム）や就労継続支援などで、障がい者の方が多く使われる。市内

では、いなべ市障害者活動支援センター、たんぼぼ作業所、ふじわら作業所、山郷重度障害者生活支援センターなどがある。

Q 障害者補装具支給事業費の増額補正について、今年度申請があった高額な補装具の種類は。また、い

なべ市では何が一番申請が多いのか。

A 高額な補装具は電動車いすが1台約92万円、車いす（座位保持付）が約50万円。また、義足は37万円程。申請は補聴器や車いすが多い。

就学扶助事業（一般会計補正予算）

Q 就学援助費と特別支援学級児童・生徒就学奨励費について、具体的に何が支給対象になるのか。

A 就学援助は、学用品、通学用品、校外活動費、修学旅行費、学校給食

費や特定の病気に対しての医療費などが就学援助になる。特別支援学級在籍の生徒についても、支給額は異なるが同様のものが対象になる。

Q 就学援助費の支給人数は。

A 平成26年度で小学校118人（昨年度は112人）、中学校80人（昨年度は67人）。

産業建設常任委員会での主な質疑

産業建設常任委員会



後列左から、川瀬 利夫 委員、小川 幹則 委員
前列左から、清水 実 委員、鈴木 順子 委員長
種村 正巳 副委員長
(伊藤弘美委員 所用により欠席)

青川峡キャンプパークの指定管理者の指定

Q 青川峡キャンプパークは全国的にも非常に人気も高く注目をされているが、現在、施設管理している、ほくせいふれあい財団はいつから指定管理者となっているのか。また、他の団体からの応募は。

A この施設は、平成18年4月からほくせいふれあい財団が指定管理者となっている。これまでの実績を踏まえて施設管理、運営を着実にやっているという評価により、指定管理者選定委員会から、指定管理者の指

定について可とする結果を得ている。他からの応募はない。

林業施設災害復旧費補助金（一般会計補正予算）

Q 林業施設災害復旧費補助金1,740万円の内容は。また、前年度から繰り越した工事はいつ頃完成するのか。

A 1,740万円のうち90万円が本年被災した小穴谷線の国庫補助金。残りの1,650万円は林道船原線災害復旧費で、平成25年9月15日、16日の集中豪雨による藤原町山口地内の林

道船原線の被災の工事であり、11月に入札をしている。現在も工事は進行中で3月20日完成を目途に復旧を進めている。

有害鳥獣対策事業費（一般会計補正予算）

Q 檻製作費補助金の内訳は。

A 檻については、現在36台分の補助金を出している。しかし、それに加えて自治会から30台の要望があるため、270万円を増額補正。

Q 大型檻の監視システムは市内に何カ所あるのか。

A 東貝野でドロップネット1カ所と先般まで治田の中山で猿を捕まえる檻を設置していたが、大貝戸へ移動し、シカの夜間の監視をしたいと思っている。

Q 東貝野での捕獲状況は。

A 6月に設置し、12月までシカはゼロ。イノシシに関してはドロップネットを落とした瞬間に破いて外へ出てしまい、残念ながらイノシシについてはあまり効果がなかった。しかし、周りに設置してある小型檻にイノシシがかかり、3頭を捕獲。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

青川峡キャンプパークの指定管理者の指定（賛成多数 可決）

反対討論

清水 実

理事長が市長でなくてはならない理由の説明が十分でない

理事長である市長の仕事に対する権利義務や、理事長が市長でなくてはならない理由の説明も十分でない、市民の代表として納得できないので反対する。

賛成討論

清水 隆弘

ほくせいふれあい財団に今後も期待

私も何度も行っているが、青川峡キャンプパークは言わずと知れたいなべブランドの一つだ。そうになったのは、市はもちろんPRで支援はしているが、指定管理者である、ほくせいふれあい財団の営業努力の賜物だ。今後も、顧客満足度の維持に努め、新規来場者はもちろん、リピーターも多数来てもらえるよう、いなべの名を全国へ発信してくれることを期待し、私の賛成討論とする。

反対討論

岡 恒和

市長が代表の財団との契約は違法のおそれ

本議案は、市長が、市長を代表理事とする「ほくせいふれあい財団」を指定管理者に指定しようとするもの。民法第108条では、自己契約および双方代理が禁止され、その趣旨は代理人の胸先三寸でどちらか一方に有利、または不利な契約を結ぶなど、利益相反行為を禁止しようとするものだ。

昨年9月議会で企画部長は、「ほくせいふれあい財団はいなべ市と治田財産区の出資でできているが、財産区の管理者もいなべ市長が務めており、実質的な子会社ともいえるもので、両者は互いに利害が反するもの

でなく共通の利益を有するから問題はない」と答弁した。

しかし、ほくせいふれあい財団の出資者である治田財産区といなべ市の利益は、共通とは言えず利益相反となる。

総括質疑では、農林商工部長は、利益相反の関係にあるかどうかには答えず、新たに契約ではなく行政処分だから構わないと答弁した。

指定管理マニュアルでは、市と指定管理者で締結する協定書について、「実務的には、協定書は契約と同じ法的効力を持つと一般的に考えられる」、「協定書の締結は民法上の

契約にあたりと解する見方が有力である。実務と学術の両面において、協定書は実質的に契約と同等の法的効力をもつと考えるのが適切といえるでしょう」とされている。

「利益相反ではない」という論拠も、「行政処分で契約にあたらない」という論拠も、実体的にまた法解釈的に通用しない。

したがって、本議案は民法第108条に抵触するおそれが極めて高く、今後5年間違法のおそれにある状態に置くことを、議会として認めることは適切でない。

健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定 (賛成多数 可決)

反対討論

衣笠 民子

指定期間の途中でデイサービスセンターに変更か

この提案では、健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定期間が平成27年4月1日から平成32年3月31日となっているが、市長は新庁舎建設問題の住民説明会で「新庁舎が建設されたら阿下喜温泉はデイサービスセンターにしたい」と発言をし、住民の間に物議をかもしだしている。

質疑の答弁では「個人的な思いだ」としているが、市長の発言であり、住民の中に不安を巻き起こしている。指定期間の途中で阿下喜温泉の在り方の変更もあり得るのなら提案通り平成32年3月31日までの指定期間は適切ではない。もし、指定しようとする団体一般財団法人ほくせいふれあい財団の理事長が日沖靖市長であるからいいのだとするならおかしい話である。

また、税金で指定管理委託料が発生する問題で、指定する側のトップと指定される側のトップが同じということは適切でない点も指摘し、反対する。

賛成討論

種村 正巳

民間委託は観光の活性化に発展

ほくせいふれあい財団に指定するに当たり、①市内の一般財団法人の育成になる。②自治体の直営より財政の緩和を取り入れた幅広い業務、運営ができる裁量が広がるのではないか。③何よりも民間の視野から新しい発想が期待できる。④地元雇用で

市内の身近な企業人の育成の場に繋がるのではないかと。⑤市内の近隣市町の入りこみ人口の社交場として健康増進施設阿下喜温泉を市内観光の第一拠点として位置付け、観光の活性化に発展させる要素があると思われる。

さまざまな歴史と要素から市長の管理者に対しては時として説明責任もあるのではないかと。しかし、事業や雇用からしては市民の安心感があるのではないかと。以上の観点から指定管理者の民間委託に賛成する。

反対討論

清水 実

理事長が市長でなくてはならない理由が十分でない

理事長が市長でなければならないことに、市民の代表として納得でき

ない点と、いずれ福祉施設として独立させる話を聞くと、不信が募るば

かりで理事長を信用することができないので反対する。

市道路線の変更

(賛成多数 可決)

反対討論

岡 恒和

市民合意をつくる努力なしにすすめていくことには反対

本議案は、いなべ市の新庁舎建設に伴い、いなべ市道路線の変更を行なうとするものである。いなべ市が開催した住民説明会では「現庁舎の建っている北勢庁舎、員弁庁舎、大

安庁舎などの場所に建て替えては」とか、「現に買収済みで進入道路も建設済みの総合福祉センター用地を使っては」などの意見が出された。こうした意見に対して、十分な説

明がなされておらず、先の債務負担行為を提出したのと同様に、市民合意をつくる努力なしにすすめていくことには賛成できない。

賛成討論

伊藤 智子

新庁舎建設のためにも建設後も市民にとって必要不可欠

いなべ市の新庁舎建設予定地に接続するための阿第107号線の路線の変更は新庁舎建設のためにも新庁舎建設後も市民にとって必要不可欠。

詳細については新庁舎建設特別委員会で議論を深めていけばいいと思う。阿第107号線は新庁舎利用のためにももっとも重要な路線であるの

で、今議会で認定し、新庁舎建設のスケジュールに遅れを生じさせないようにするべきと思う。よって私は賛成する。

反対討論

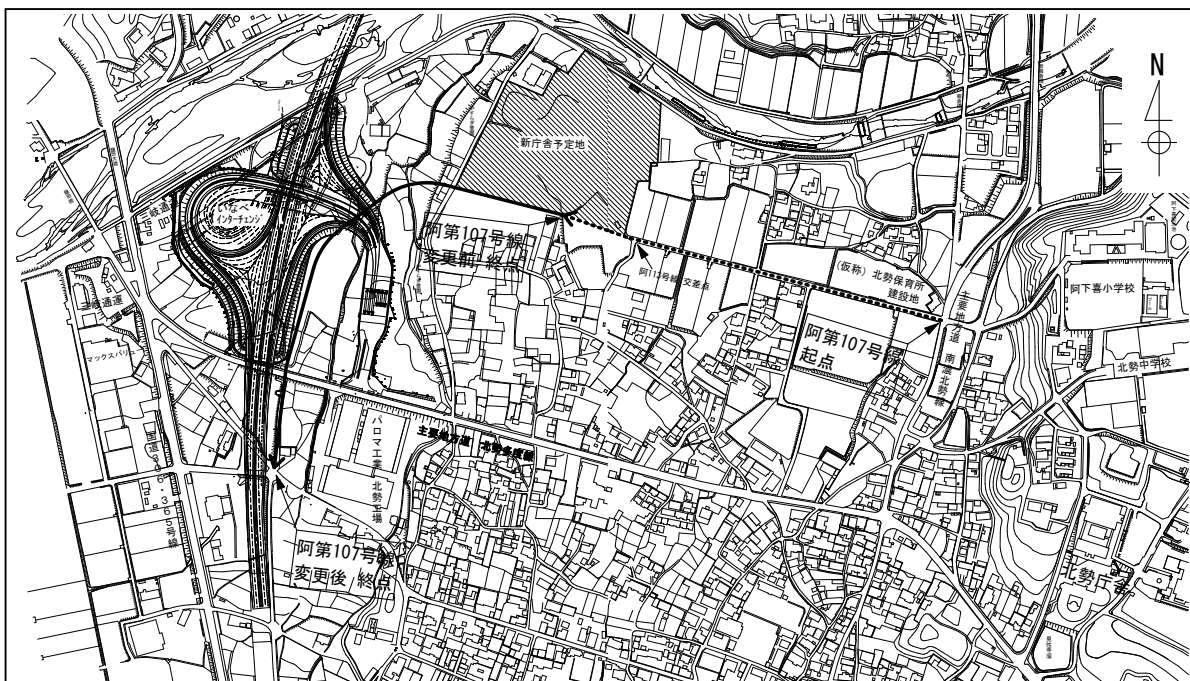
清水 実

市長の執行に疑問

路線変更のみの議案なのだから、質疑は問答無用とばかり、広く一般

市民への解答を工夫しない市長の執行に疑問があり反対する。

位置図



一般会計補正予算（第5号）

（賛成多数 可決）

反対討論

衣笠 民子

新庁舎建設、住民合意がないまま既成事実をさらに積みかさねるべきではない

新庁舎への進入道路である市単独道路改良事業費6,000万円が計上されている。新庁舎建設問題で9月28日の住民説明会、10、11月に旧町ごとの説明会が開催されたが、市長の提案する「建設場所は阿下喜地区」に対して「現庁舎の建っている北勢庁舎、員弁庁舎、大安庁舎などの場所に建て替えては」とか、「現に買収済みで進入道路も建設済みの総合福祉センター用地では」との意見も出された。まだ新庁舎の建設、建設

場所について市民の合意が十分とは言えない。

議会に対しては、平成25年6月議会で新庁舎建設基金30億円の設置・積立、平成25年9月議会で新庁舎に向けたアドバイザー事業費125万円、平成26年3月議会で新庁舎基本設計業務費約6,000万円、平成26年9月議会で土地開発公社による阿下喜地区土地買収の債務負担行為が提案され、すべて可決されている。全市民に関わる重大問題に対し、住民を置

いてきぼりにして一つずつなし崩しに進め、住民説明会が開催されたときには、住民はすでにあきらめさせられているような状態になっている。

新庁舎の建設は単なる市役所の建物建設の問題ではなく、まちのかたちや住民の暮らしにも関わる問題。いなべ市の発展を真に願うなら、十分な住民の納得のもとに進めるべき。さらに既成事実を重ねるような予算には反対。

賛成討論

位田 まさ子

全体を見渡し考えられた予算編成である

平成26年度補正予算3億2,200万円を無駄なく有効活用したと思い賛成する。

まず、はじめに税のマイナンバー制度の対応を予算に上げ、これは乗り遅れると多額の費用が、かかるものと素早く対応して取り組む点。そして、獣害対策においても、檻の製作数で、住民の要求数を100%充た

し、北勢中学校屋内運動場の整備設計委託料、福祉においては、県費ながら、必要になる小規模多機能型居宅介護事業所の充実のための努力など、住民の視点を充分取り入れている。なお、債務負担行為補正では、ツアー・オブ・ジャパンの斬新なブランド化への取り組み。また教育整備費では、築43年の笠間小学校改築

工事設計委託料を確保するなど、全体を見渡し考えられた予算編成であると思う。財政の厳しい中、国や県の補助金、頑張る地域交付金など上手く取り入れ活用している。よって平成26年度補正予算の賛成の討論とする。

反対討論

清水 実

将来に対して希望も期待も見られない

藤原小学校建設計画の基本設計に関する議会での内容説明もなく、また、有害鳥獣事業で猟友会の人々と密な現場交流をすることもなく、た

だ事務的な部長以下の職員態度では将来に対して希望も期待も見られず、反対する。

請願書審査の結果、国へ意見書を提出

三重県保険医協会会長渡部泰和氏から下記の請願書が提出されました。
所管の教育民生常任委員会での審査を経て全員賛成により、国へ意見書を提出しました。

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

趣 旨

歯や口腔の機能が全身の健康、介護・療養上の改善に大きな役割を果たすことが実証されており、歯や口腔を健康に保つことは、国民の健康維持に不可欠な要素と言える。

しかしながら、深刻さを増す不況の中で、公的医療保険の患者自己負担が増えていることに加え、歯科医療は医療技術の進歩に伴う新しい治療行為の多くが保険給付の対象とされていないことから、患者の医療費負担が大きく、歯科治療が受けにくくなっている。

平成26年4月の診療報酬改定において、先進医療技術からCAD/CAM冠が新たに小臼歯部に限り保険導入されたが、安全・安心が確立している金属床の入れ歯、セラミックを用いた冠の治療は、普及し始めてから30年以上経っても未だ保険導入されていない。「保険のきく範囲を広げてほしい」という声が、患者・国民のいちばんの願いとなっている。歯科医療に関する技術の進展や口腔保健の重要性を踏まえ、保険医療として適正な技術料評価を行うことが求められている。

よって、国および政府に対し、患者の窓口負担を軽減するとともに、歯科の保険給付範囲を拡大し、国民が保険でより良い歯科医療を受けられる措置を講ずるよう強く要望する。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の22案件は全員賛成で可決しました ～

議長 岡 英昭は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対 (付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会)

会 派			創風会					いなべ未来					政和会					いなべ市議団		日本共産党	無会派	
議 案 名	付託委員会	審議結果	伊藤智子	清水隆弘	位田まさ子	伊藤弘美	種村正己	小川克己	小川幹則	渡邊忠比古	川瀬幸子	鈴木順子	岡英昭	林正男	新山英洋	多湖克典	伊藤正俊	川瀬利夫	水谷治喜	岡恒和	衣笠民子	清水実
青川峡キャンプパークの指定管理者の指定について	産	可決	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×
健康増進施設阿下喜温泉の指定管理者の指定について	産	可決	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×
いなべ市道路線の変更について	産	可決	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×
平成26年度一般会計補正予算（第5号）	総・教・産	可決	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×

一般質問

あなたの声を市政に

12月2日、3日に10人の議員が一般質問を行いました。なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。



創風会 のりこ
伊藤 智子

市民のための健康増進を問う

～元気づくりシステム～

【質問1】①㉗会員。㉗参加人数。㉗男性の比率。②市民への活動と全国発信の比重。③医療費抑制効果は。④事務局の市民対応は十分か。⑤元気クラブの事務所「いこい」にある「健康の駅」の取り組みは。⑥新たに「健康の駅」の設置計画は。⑦元気づくりの究極の目的とは。⑧遠くの元気な人たちとの交流とは。

【福祉部長】①㉗平成26年は669人。㉗延参加者数で平成22年度は22,023人、平成25年度は41,019人と毎年増加中。㉗14.1%。②全国から学び、いなべを更に良くする。③国民健康保険の方の在宅医療費

が年間平均、一般市民291,518円、元気クラブ参加者 213,272円で、78,000円程低い。④元気リーダーを養成することで、円滑に行っている。⑤元気クラブの健康増進のための活動がすべてあてはまる。⑥新たな設置計画はない。⑦元気リーダーを養成することで、指導員がいなくても、元気リーダーにより自主的に運動ができるシステムの再構築をしていく。⑧全国に発信していて、現在3自治体がいなべの元気づくりシステムを実施している。

平成27年度は さらに増える予定。今後、多くの自治体が実施することにより、ますます交流が増

えることで、地域のブラッシュアップにつなげていく。



元気づくり

道徳的実践力を育てる道徳教育は

～新しい時代を、人としてより良く
生きる力を育てるために～



創風会

清水 隆弘

【質問1】①道徳教育の教科化で何が変わるのか。②道徳教育の教育長の見解は。③平成25年度道徳の時間の状況は。④「道徳の時間の年間指導計画」の実質化は。⑤「私たちの道徳」の配布状況、持ち帰り調査結果は。⑥人権教育の前にまず道徳心や規範意識を育て、自分が社会の一員であることを十分に認識させることが大事だと考えるがどうか。

【教育長】①授業時数は当面現行と同様で年間35単位時間。教科書を採用することになるが、時事的な内容や三重県版こころのノートなど活用し、地域的な内容も指導

する。評価は文章で行うことを検討。道徳的な解釈を重視し、自己肯定感を持ち、自己の成長を確認できるような評価をする。

②人間形成に最も重要な教育だと認識。③中学校1、小学校3校が35単位時間弱。学級会活動にし、特別活動としてカウントしたため。④わずかだが年間指導計画が形式的になっており、PDCAサイクルで進めるよう指導。⑤全ての児童生徒に4月に配布。1校だけ子どもの状況から持ち帰らすことが心配な学級があり、持ち帰らせていない。⑥個人の人権ではなく社会の中での「私」が保障される必要がある。今後も道徳教育を発

達段階に応じて進める。



道徳教育で活用されている副読本「私たちの道徳」

1. 福祉の拡充を 2. 生活習慣病対策は 3. ゴミ処理改善を



いなべ未来

鈴木 順子

【質問1】①障がい者の保護者が高齢化しており、グループホームが必要と思うが現状と今後の計画は。②保育園における障がい児支援について、ST（身体機能）の取り組みの強化を。③現在、婚姻歴のない一人親に対しては寡婦控除が適用されていないが「みなし適用」をするべきと考えるが。

【福祉部長】①グループホームの絶対数が足りないので、平成28、29年に指定管理により建設予定。

【健康こども部長】②来年度から保育所の巡回研修相談として肢体不自由児に対して作業療法士による指導を試みる。③みなし寡婦控

除については、来年度から導入を検討。

【質問2】①生活習慣病の予防について現在の取り組みと課題は。②今年10月より活用できるようになったKDB（国保データベース）をどのように活用し、医療費の削減に繋げるのか。

【健康こども部長】①医療保険の種別に関わらず市民の健康増進という視点で生活習慣病対策を行う必要がある。②今後KDBを活用した保険指導などできることから始める。

【市民部長】②レセプトデータを

活用して、後発医薬品利用差額通知を始める。

【質問3】①じゅうたん・カーペットなど粗大ゴミで処分できるように、破砕機の導入をするべきと考えるが。②いなべ市内のゴミ処理について今後のビジョンは。

【市民部長】①破砕処理施設は、独立した施設として用地を求める必要があり検討する。一般家庭から排出されるじゅうたん・カーペット等は裁断をせずに3町の粗大ゴミ場での受け入れを検討する。②新規処理施設が必要になる。



あじさいクリーンセンター



いなべ未来 もと のり
小川 幹 則

1. ふるさと納税(寄付金)をすすめては
2. 小中学校の学力向上のための取り組みと
ネット社会における学力への影響はどうか
3. 総合窓口業務の取り組みと将来に向け
どのような窓口を理想と考えるか

【質問1】ふるさと納税を積極的に推進し地域産業の振興を図り、ふるさと納税者へは市の特産品や観光PRにも積極的に図るべきと考えるが。

【企画部長】青川峡キャンピングパーク等の利用割引券を贈呈品として贈っており、利用券を活用して市の魅力を感じてもらい広がって行けばと思っている。引き続き取り組みを継続していく。

【農林商工部長】市内産品を贈呈品に加えることを今後検討していく。

そば祭り等イベントでもPRに努める。

【質問2】全国学力テストの結果平均正答率は、三重県は全国平均以下であったがいなべ市における学力向上の取り組みはどうか。携帯やスマホの使用時間が長いほど成績が低い傾向が明らかになったが市の状況と対策について支援をどのように考えているか。家庭への支援対策や学校でのルールがあることが、子どもを守る手段でもあると思うが。

【教育長】成果と課題を明らかにして課題に焦点をあて改善を行っていく。NRT(教研式 標準学力検査)の分析を行い、授業づくりの研修を行う集団づくり、学習意

欲の向上や生活習慣づくりに努める。学校でのルール化は現状では難しい状況にある。

【質問3】現在4庁舎で実施しているが不便さを感じる、といった市民の声を聴くことがある。市民が望む総合窓口業務をどのように考えるか。新庁舎には総合的に案内をするところが必要である。市民が分かりやすい窓口の設置をお願いしたい。

【総合窓口部長】新市役所に総合窓口を設けるかは未定だが周辺各課と調整をする。市民の相談窓口という重要な業務を担っている。



青川峡キャンピングパーク



いなべ未来
渡邊忠比古

1. 今年度の除雪対策は
2. 観光の取り組みは
3. これからの市財政の今後を問う

【質問1】今年度の除雪対策は、どのようになっているのか、また除雪路線計画は何路線、総延長は。大雪時の除雪路線以外の路線の除雪対策は。

【建設部長】市内も広く、地域において積雪量も異なるため、業者委託した除雪道路ごとに計測をし、10cm以上あれば除雪する。状況により融雪剤の散布か除雪作業か判断し実施している。

除雪路線は105路線、総延長186km。除雪対象外の路線については、自治会等に対応していただくしかない。現状では除雪路線を増やすのは困難。

【質問2】いなべ市の観光については、どのような展開・PRを考えているのか。また「藤原岳の日」を制定してはどうか。

【農林商工部長】平成27年度は自転車を活用した観光、ツアー・オブ・ジャパンいなべステージの開催を契機として、サイクリストに対応した観光施策の推進を展開する。情報誌リンク、ホームページ、観光協会のフェイスブック等を活用する。総務省の支援を得て都市地域からの公募で地域おこし協力隊員を募り、その人材を活用し、地域ブランドや地場産品の開発、販売で地域の魅力をPRできない

か検討をしている。また、「藤原岳の日」の制定は考えていない。

【質問3】日本銀行は、量的・質的緩和を実施したが、市の財政への影響は。また市民の暮らしはどうなると考えるか。

【企画部長】先行き不透明であるが市民への影響を少なくするため、経費削減のほか、公共施設の適正配置、国の補助金・交付金を採用すべく政策提言や合致した事業を行うことにより特定財源の確保に努め、効果的で継続可能な財政運営に取り組む。



除雪作業

1. 獣害対策を問う

2. 防災対策を問う

3. ICT 高度利活用における地域活性化を



いなべ未来
川瀬 幸子

【質問1】①被害状況は。②被害対策および市民への啓発の成果は。③獣害対策や技術開発など住民の安全や生産意欲を守るためどのように進めているのか。

【農林商工部長】①平成25年度の被害面積は1,092ヘクタール。被害額は2,069万9000円。②花火の追い払い、2地域で啓発活動研修、要望のある地域に出前講座開催。③在宅の高齢者を中心に追い払いを行い、市民の協力などで、昨年度の2倍の効果があがっている。

【質問2】(1)災害を防ぐための広報について。①市民への啓発方法について現在の状況は。②多方面で活用されているSNSをいなべ市でも活用する考えは。(2)西藤原小学校の台風19号被害の確認および対応と今後の措置は。(3)いなべ市所有の防火対象物の管理方法は。

【総務部長】(1)①防災チェック読本やホームページでハザードマップなどの情報提供や防災訓練などで啓発。②SNSを活用して公式サイトなどを設けて情報を収集していく。(3)いなべ市内で64カ所点検をしている。点検につ

いては、所有する建物のうち「管理者、占有者」があるものを除き、消防用設備等を定期的に外部委託により点検している。

【建設部長】(2)えん堤工事の土砂が緩み流れてきたものと思われる。本年度、現在ある水路・集水ますの拡張など改修工事をする。

【質問3】いなべ市でもICTを活用した新たなまちづくりをする時期に来ている。ワイヤレスネットワーク、クラウドサービス等の災害に強い技術を適用し、ICTを活用するべきと思うがどうか。

【企画部長】総合的に検討する。



西藤原小学校の大雨被害

1. いなべ市の農業を問う

2. ツアー・オブ・ジャパン開催に向けて



政和会
新山 英洋

【質問1】①いなべ市における農業の位置づけは。②農家人口の推移と農業従事者の年齢構成は。③農業生産法人、認定農業者、集落営農組織、新規就農者等の育成について、現状と今後の方針は。④農家が直面している労働力(雇用)確保へのサポートは。⑤若者が農業に魅力を感じられる農政とは。

【農林商工部長】①農業は当市にとってはもちろんのこと我が国にとっても重要な産業である。②高齢者が市の農業を担っている。③いなべ市地域農業再生協議会で意見交換や協議をいただき育成に努める。④一時的な雇用制度も国の

制度であったが、抜本的な対策とはならない。⑤いなべ市地域農業再生協議会で検討し、育成を図る。

【質問2】①ツアー・オブ・ジャパン開催の意義とは。②自転車、車、歩行者との安全確保は。③交通安全への意識高揚を図る施策の実施は。④コース沿道・環境の整備は。⑤次期開催に向けた方向性。⑥ツアー・オブ・ジャパン終了後、現在、市が進めているサイクルツーリズムへの展開。

【副市長】①いなべ市の知名度アップ。②ガードマンやボランティアスタッフを配置し、安全確保に努

める。③ホームページや看板で情報発信。④路面の補修、草木の伐採。⑤いなべステージを開催できるよう努める。⑥自転車を活用したまちづくりを進めていく。





日本共産党いなべ市議員

岡 恒 和

1. 地震対策を問う
2. 梅まつりを問う
3. 小学校統廃合の取り組みは

【質問1】(1) 上下水道対策について。①発災1月後3万人支障が残る。復旧までの対策は。②配水管路耐震化が必要な距離と費用は、計画は。(2) 地域主体の対策について。①「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」等に沿った対策は。②地域の防災力強化の課題は。③市の支援計画は。井戸水活用等双方向の取り組みが大事では。

【水道部長】(1) ①給水袋や給水タンクを備蓄。避難所用トイレを整備。資材や人員を確保し応急復旧。企業や家庭の啓発。②総延長620kmの内580km。500～600億円。

財源が問題。

【総務部長】(2) ①施設整備、関係者間連携協力、防災訓練、防災教育及び広報の5点を見直し中。自主防災組織の育成、自治会及び企業の防災体制の強化と支援、地域特性に応じた体制。②自治会の防災意識を高めること。③職員の派遣、発電機等の購入補助。

【質問2】①実施計画は。②渋滞とトイレ設置や運営は。自治会の物販は。③安全対策や救護所の設置は。④自治会の理解協力は。

【農林商工部長】①実行委員会で作成中。②エコ広場からシャトル

バスを出す。自治会と協力し地元任せる。③ガードマン増員、職員、看護師配置、AED設置。④自治会長を実行委員に。

【質問3】懇談会等の進み具合は。

【教育部長】藤原小学校開校準備協議会で地域への説明を進める。



井戸水の活用



日本共産党いなべ市議員

衣 笠 民 子

1. 困りごと相談窓口の設置で
市民に役立つ市役所へ
2. 培ってきた「いなべの教育」、
子育て支援をいなべ市のブランドに

【質問1】①生活困窮者自立支援法の事業は何をどこで行うか。②困りごとのある人はどこへ行ったらいいか。③総合窓口利用者総数は。困りごと相談の対応は。④税金、国民健康保険料、上下水道料金など複数滞納の対応はどこがどのようにしているか。

【福祉部長】①自立相談支援事業と家計相談支援事業を社会福祉協議会、学習支援事業をNPO法人に委託で行う。住居確保給付金事業は社会福祉課保護担当で行う。②総合窓口で相談すれば振り分けられる。

【総合窓口部長】③取扱件数は平

成25年度で12万6267件。目的が明確でない人も、相談を受ける中で、申請をしたり、担当部署と連絡を取り対応している。

【総務部長】④基本的には所管課で対応している。

【質問2】①立田小学校の山村留学、西藤原小学校の小規模特認校制度の評価できる点、小規模校のよい面は。②北勢町小学校の自校方式学校給食の評価できる点は。

【教育部長】①豊かな人間性の育成に役立ってきた。教師が全児童の細かい面まで理解でき、きめ細やかな対応で一人ひとりに合わせ

た教育ができる。上級生が下級生の面倒をみるなど上下間の育成にも役立っている。地域が子どもを受け入れやすく、地域のつながりを持つ活動がしやすい。②いなべ市内生産の農産物を旬の時期に購入。生産者とのつながりを持ち、感謝の心を育んでいる。



大安総合窓口

藤原岳自然科学館

運営委員会の施策を問う



無会派

清水 実

【質問１】①平成26年度運営方針は。②館報「藤原岳」への原稿募集要項および会計報告はどうか。③魅力ある観察地の開拓や「市内」の生徒および先生の参加は。④藤原鉱山に関するアセスでの移植と移動について公開説明は。⑤同地域の採集許可と標本提示は。⑥孫太尾根の開発見通しと保護対策は。⑦市長が藤原岳自然科学館の改造を述べたが対応は。⑧私やグループの人となぜ現場確認に同行できないのか。

【教育長】①平成26年度の方針は何もなく、運営委員会を開催する必要もないのではない。②平成26年度の館報に原稿要項は記載したが別刷は考えていない。会計は決算書の報告通りで、領収証は不明。③学校へ出前授業をはじめ、教育研究所とタイアップして、学校の授業に役立つことを中心に考えている。④事業主でないので、説明責任はない。⑤事業主の許可が必要であるが、何もしない。⑥孫太尾根は開発から回避され、問題ない。事業主は2回のモニタリングで成果もあげている。⑦今年より7名体制での運営と老朽化調査を中心としている。他は今後の検討

課題。学芸員の配置についても今後考える。⑧教育長という立場上の理由で同行できない。



ステゴビル

総括質疑 Q & A

いじめ問題対策連絡協議会条例の制定

Q 「いじめ防止基本方針」との違いは。

A 「基本方針」は、いじめ防止の基本的な考え方を示し、いなべ市が実施すべき施策や重大事態への対処等具体的な内容を示すものであるが、「いじめ問題対策連絡協議会」は、いなべ市がいじめ防止等に関する機関および団体の連携を図る組織。

Q 協議会は学校、教育委員会、児童相談所、地方法務局、警察、その他の関係者により構成されるとあるが、その他の関係者とは。

A 社会福祉協議会、民生児童委員協議会、主任児童委員会、員弁地区人権擁護委員連絡会、人権機関メシエレの代表者などを予定。

いじめ問題対策審議会条例の制定

Q 規定する委員に現職の教職員を委嘱することは考えているか。

A 考えていない。適切にいじめの問題に対処するという観点から第三者の参加で行う。

農作物有害鳥獣追払事業

Q 檻制作費補助金 282 万円で檻の作製個数は。

A 30 台分。

Q 今回の補正で住民の要求数に間に合うのか。

A 自治会要望数と同数。

青川峡キャンピングパークの指定管理者の指定

Q 指定しようとする団体の代表者と指定者が同一となっているが問題ないのか。

A 指定管理者制度で行うので利益相反にあたらない。

※指定管理者制度とは、民間企業やNPO法人などに公の施設の管理・運営などを委託すること。

クイズ

問1 新庁舎建設特別委員会の構成人数は。

〇〇人

問2 公の施設の管理・運営などを民間企業やNPO法人などに委託する制度は。

〇〇管理者制度

問3 ドロップネットで捕獲されたイノシシの頭数は。

① 0頭 ② 1頭 ③ 3頭

答えはすべて「紙面の中」にあります。
ぜひ、ご応募ください。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて先 〒511-0292

いなべ市大安町大井田2705番地

大安庁舎内 いなべ市議会 議会事務局

☆締切日 平成27年2月20日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができましたら、「議会だより」や「議会」に対するご意見やご感想もぜひお書きいただき送付ください。

なお、「はがき」にご記入いただいた個人情報につきましては、目的以外に一切使用いたしません。



議会広報編集委員会

私たちが1年間「議会だより」作成を担当します。

後列左から、鈴木順子委員、渡邊忠比古委員
岡 恒和委員

前列左から、種村正巳委員、川瀬幸子委員長
新山英洋副委員長

編集後記

12月議会が終わると忙しくなるのが広報編集委員会です。お気づきのように委員会のメンバーが変わりました。「議会だより」にも少し変化が感じられるでしょうか。

いなべ市が誕生して早いもので10年が過ぎました。議会は市民のためにあり、市民の皆さまは、議員が市民の声にどう応え、どう活動するのかを注視しています。議会のあり方、議員の質の向上が問われている中、徹底した議会改革や情報公開が必要です。これからの1年間この6人のメンバーは、少しでも市民の皆さまと議会の架け橋となるような、また親しまれ愛読いただけるような「議会だより」の編集に努めてまいります。

3月定例議会(予定)

- ◆開会日……………2月19日(木)
- 代表質問……………3月 2日(月)
- 一般質問……………3月 4日(水)
- ……………3月 5日(木)
- 総括質疑……………3月10日(火)
- 新庁舎建設特別委員会…3月10日(火)
- 総務常任委員会……………3月11日(水)
- 教育民生常任委員会…3月12日(木)
- 産業建設常任委員会…3月13日(金)
- ◆閉会日……………3月18日(水)

市議会では本議会の開催日に傍聴席を開放しています。
お気軽にお越しください。
(受付場所：いなべ市役所大安庁舎 2階ロビー)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292

三重県いなべ市大安町大井田2705番地

いなべ市議会 議会事務局

TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516

<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>